

AUSAS

アウサス



ワイン名：アウサス
 ヴィンテージ：2019
 生産者名：ボデガ・イ・ビニエド アウサス
 Bodega Y Vinedo Ausas
 原産国：スペイン
 地方・地区：カスティーリャ・イ・レオン州
 格付：DO リベラ デル ドウエロ
 規格：750ml x 6本（マグナム 1500ml x 1本）
 セパージュ：テント・フィノ（テンプラニーヨ）100%
 土壌：砂、粘土、石灰質（標高 950m）
 樹齢：35年～90年（主な畑：ペスケラデルドウエロ、ナバデロア、ロア、モラディーリョデロア、グミエルデメルカード）
 発酵：容量4,000～4,500ℓのステンレスタンク、コンクリートタンク
 熟成：225ℓ、500ℓ（50%）のフレンチオークで15ヶ月（新樽率 35%）
 アルコール度数：15%
 生産量：34,563本（ボトリングは2021年6月）
 JANコード：8 437018 926152
 参考小売価格：¥12,000（税別）

【テイastingコメント】

熟した果実の香りにハーブやオークのクリーミーなアロマ。果実味とスパイスが一体となり深みのあるタンニンが力強く広がりながらも主張しすぎずエレガントに続いていく。

【評価】◆パーカーポイント 95 ◆ペニンガイド 95

NOTES

醸造家のハビエル・アウサスはスペインの最高峰、ボデガス・ベガ・シシリアの醸造長を25年勤め、2015年に退職。フランスやスペインの著名なワイナリーのコンサルタントをしていましたが自らのプロジェクト「アウサス」を立ち上げ2016年がファーストヴィンテージ。長年の経験から今も良好な関係を築いているリベラ・デル・ドウエロの栽培農家から優れたぶどうを手に入れ、それぞれの畑の特徴を活かしてアッサンブラージュする。（畑はブルゴスのモラディーリョ、ロア、ナバデロアなど）ラベルの「インテルプレタシオン」はinterpretación=「介入」「（自分なりの）解釈・演出」という意味でその年のぶどうにどう自分が関わっていくか、自分なりに表現するということです、というあくまで自分ひとりで造っているわけではない、栽培農家も一緒に造っている、ということを伝えたいから。彼のフィロソフィーは主に以下の3つがポイント。

- ・ピュアな果実味+樽（ただし樽感はですぎずほのかな程度）
- ・フレッシュさ、生き生きとした酸
- ・口の中を広がる上質のタンニン と、エレガントなワインを求める彼のスタイルは今後も期待が高まります。

2019ヴィンテージ・・・1月2月は気温が例年より低く雨量も少ない休眠期を経て4月の萌芽には激しい雨が続いた。そのため5月12日と13日を除けば、また気温が氷点下を記録した一部の畑以外は春霜の被害は目立たなかった。6月から8月は例年より暖かく9月は複雑。低気温と断続的な雨が12日まで続きその後雨は降らず昼間の気温が22-24度、夜は9-12度と日較差のおかげでぶどうはゆっくりと着実に成熟した。収穫は9月27日から10月10日に行われた。